

# 樹木を守る、強力な体質づくり。

はじめに

樹に直接注射をして、活力を取り戻す——この発想こそ樹木活力素**ステミックス** 独得のものです。

**ステミックス**が直接樹液流と共に《ムダなく》《すばやく》樹全体にゆきわたることにより、葉や根毛の成長は活発にうながされ、緑化木は健全な機能を回復していきます。何故**ステミックス**が最近各方面で注目されてきたのでしょうか。

異常気象などによる移植時の活着不安定、さまざまな公害による環境の悪化、その他管理上の問題などが少なからず緑の保全に影響を及ぼしていると言えましょう。

**ステミックス**はこのようなストレスを受けている樹木を生き生きとさせてきた実績がご使用者より高い評価をいただいたものと考えています。樹木のすこやかな成長には長い年月と温かい愛情が欠かせません。

**ステミックス**の効果的な使用により、あなたの大切な緑をお守りください。

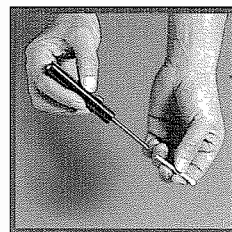
## ステミックスの優れた特徴

- 1) ステミックスは樹木の成長に不可欠なミネラルがバランスよく配合されています。
- 2) 根を経過せず直接樹液層から吸収されるため速効的できわめて経済的です。
- 3) 操作が簡単で短時間で作業が完了します。
- 4) 移植時の活着に優れた効果を発揮します。
- 5) 栄養剤のため毒性の問題はなく環境汚染の心配もありません。
- 6) 注射の針が細く樹木にダメージを与える心配はありません。

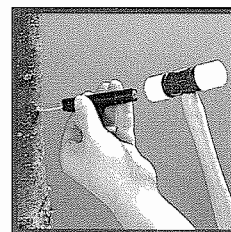
## ステミックスの使用上の注意

- 1) 胸高直径10cm以下の樹木の使用は避けて下さい。(葉焼け現象が出る恐れがあります)
- 2) 幹のなるべく根に近い部分に円形状になる様、15cm間隔で注射して下さい。
- 3) 常緑樹は1年中差し支えありませんが落葉樹の冬場での使用は効果が現われません。
- 4) 大抵の樹木は1回打てば充分ですが状況によって判断して下さい。
- 5) 栽培果樹への使用は避けて下さい。

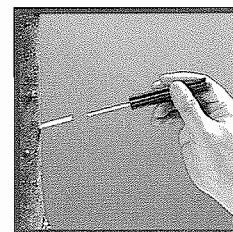
## ステミックスの使用手法



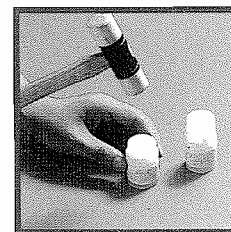
1) 打込機にアルミチューブを差し込む



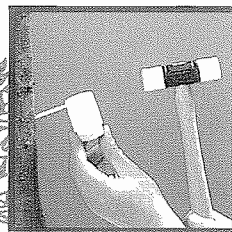
2) 樹幹のなるべく根に近い部分にハンマーで打ち込む



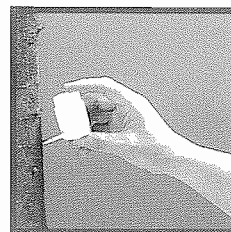
3) 樹皮の部分から幹に達すると一寸違った音を感じる。それから2~3回叩くと丁度チューブの切り口が形成層に達する(打込機を抜き取る)



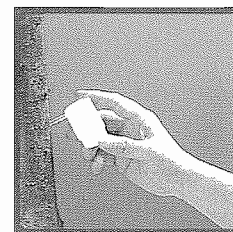
4) ステミックスのフタ部分をハンマーで叩いて、フタのリングが本体に入るまで圧縮する。(約3kgの圧がかかる)



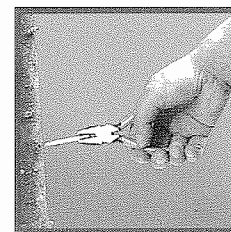
5) フタ部分を下にして連結穴をアルミチューブに添えるようにして差し込み、カプセル背後をハンマーで内部のシールが破れる迄、軽く叩く



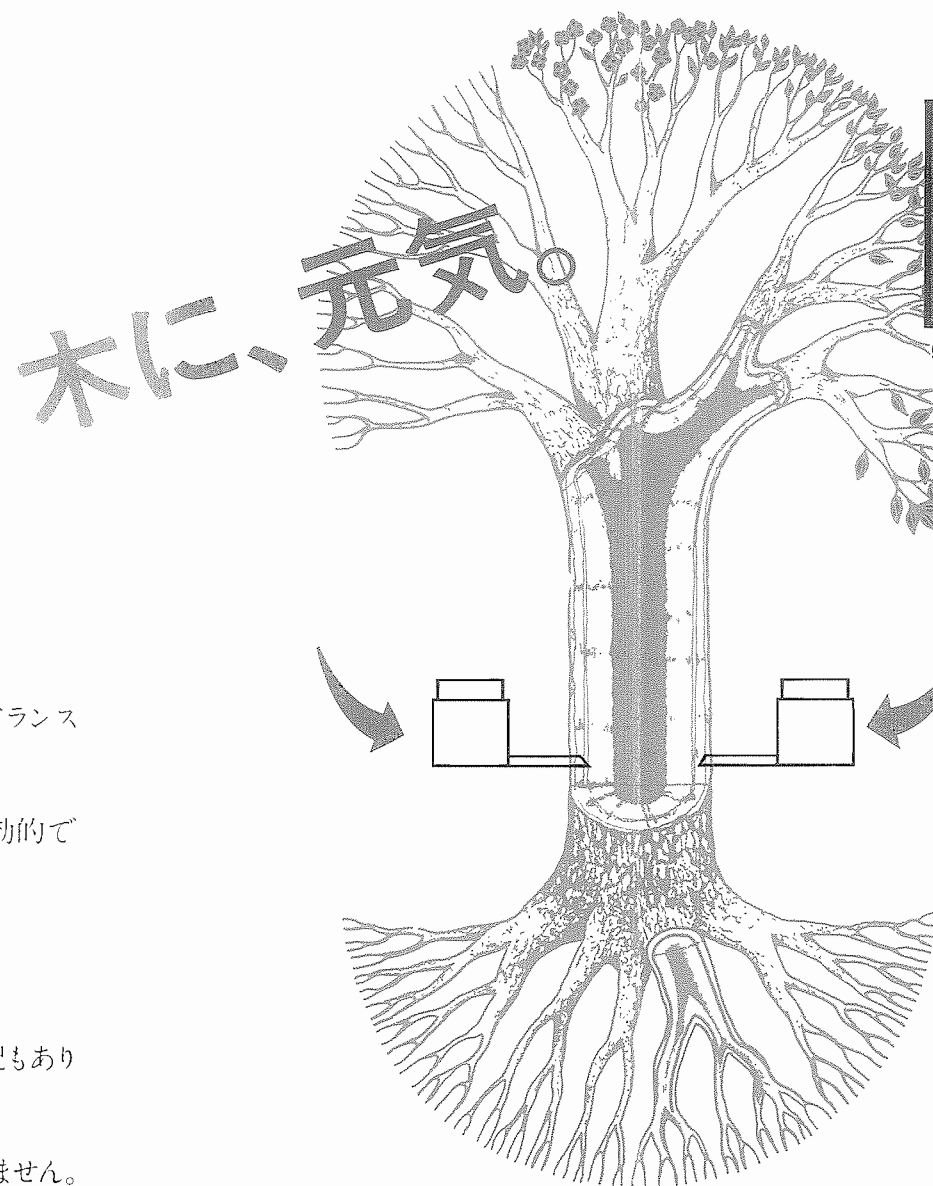
6) シールが破れたらカプセルを裏返しにしフタの部分が上になるようにする



7) 早ければ4~5分か遅くとも数時間で注入が完了する。カプセルを抜き取る前に打込時と同じように逆さまにして2~3分おく(チューブ内に残っている薬液を完全に樹本内に入れるため)



8) 注入が終わったら速やかにカプセル・チューブを抜き取る(放置しておくと樹液がカプセル内に逆流することがある)



## ステミックスの効用

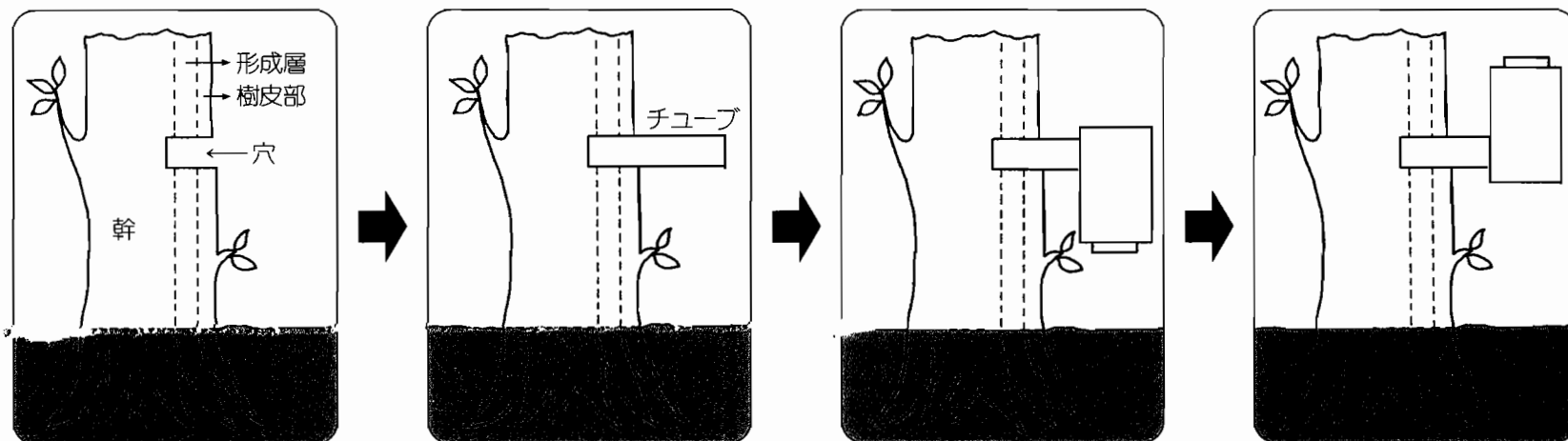
- 効果あり    × 効果なし
- 移植
- 根切り
- 舗装の障害
- 強剪定
- 密植障害
- 害虫による被害
- 病害
- 水分過多
- 冷害
- 風害
- 養分欠乏
- 微量元素不足
- 除草剤の軽度の障害
- 空気の汚染
- 火傷
- × 水不足
- × 窒素焼け
- × 施肥過剰
- × 塩害

# 電動ドリルをお持ちの方へ

## ステミックスを注射する場合

「電動ドリル」を使用すると、作業能率が数倍上がります。  
(ピット径4.3mmをご使用ください)

### 手順



1.ドリルで幹の部分まで穴をあける。

2.チューブを差し込み、外部に薬液が漏れないようハンマーで少し打ち込む。

3.下向きに差し込みシールが破れる迄軽くたたく。

4.最後にカプセルを上向きにする。

### ドリル使用の利点

- ★作業時間が早く、効率も数倍上がります。(打込機の使用は一切いりません)
- ★樹木細胞への損傷も、きわめて軽微です。(打込機の場合、細胞組織をつぶしてしまう恐れがあります)
- ★薬液が外部に漏れないよう、チューブの先端を樹皮部～形成層に差し込んでください。